

# 本校の地域連携・地域交流

富士吉田市立下吉田東小学校

## 地元消防団と連携した活動

～火災想定防災訓練で消火放水の実演、PTA 奉仕作業の側溝の放水清掃～

### 1 目的と経緯

本校学区には、地元消防団として富士見町、東町、仲町の消防団がある。かねてより PTA 奉仕作業での協力を輪番で依頼してきたが、今年度は新たに防災教育における連携を行った。日頃より地域を守っていただいている地元消防団の活動を子供達に知らせる良い機会になると考えた。

### 2 内容

#### (1) PTA 奉仕作業への協力 実施日 令和7年8月30日(土)

2年に一度、グラウンドの側溝の砂上げ作業を行っている。全ての側溝の蓋がとれるわけではないので、消防車の水圧を使って砂を端に寄せて砂上げ作業をしている。消防団のおかげで手作業では届かない場所の清掃ができています。PTA の生活安全部の主催事業のため、生活安全部を中心に連携を行っている。

#### (2) 火災訓練で消防団の消火放水の実演 実施日 令和7年10月20日(月)

地元消防団には、本校児童の保護者も多く所属して活動を行っている。日頃から訓練等を行い非常災害時に備えていただいている。しかし、子供にとって地域の大人、中には自分の保護者が活動している様子、地域を自治的に守ってくれているという気持ちは少ないかもしれない。そこで、火災を想定した避難訓練時に消防団を招聘し、消火放水を実演してもらった。当日は、消防団の配慮により、全員が本校保護者の消防団員だった。写真にあるように全ての親子で放水実演を行った。

### 3 成果と課題

- ・ 奉仕作業では、PTA だけではできない部分を協力していただき、大変ありがたかった。
- ・ 学校の活動に参加いただくことで、地域の中の学校という意識を消防団の方々に持っていただくことができた。
- ・ PTA 及び学校職員と消防団が作業を通じて顔見知りになることができ、地域連携のきっかけをつくることができた。
- ・ 子供達が災害時に地元の消防団に守ってもらっていることを改めて自覚できた。
- ・ 消防団員の子供達は一緒に放水実演をしたことで、改めて保護者を違った視点から知ることができる良い機会となった。
- ・ 引き継ぎをしっかりととして、連携がより深められるようにしていきたい。
- ・ コミュニティースクールの設置校なので、地域連携の主体をコミュニティースクールに徐々に移管したいが、設置2年目での難しさがある。

